

I.平成31年・令和元年度(平成31年4月～令和2年3月)事業報告

1. 事業概要

当財団は大正2年(1913年)にはじまるライオン講演会を活動の原点とし、大正10年(1921年)に開設した「ライオン児童歯科院」を前身として誕生しました。平成22年(2010年)10月からは「公益財団法人ライオン歯科衛生研究所」となり、「国民に口腔衛生の普及啓発を図り、併せて健康と福祉に寄与すること」を目指して諸活動の実践にあたってまいりました。

平成31年・令和元年度は、「予防歯科(プロケア受診とセルフケアの高度化)の推進を目指した普及啓発活動の実践」を一年間の活動方針として定め、口腔保健普及啓発事業(公益目的事業-1)、調査研究事業(公益目的事業-2)、教育研修事業(公益目的事業-3)を推進するとともに、公益事業のさらなる推進に資する目的で口腔保健に関する収益受託事業を実施いたしました。

事業の推進にあたっては、関連諸団体との連携強化ならびに活動評価の充実・体質化を継続して図るとともに、常に事業の質的向上と効率的な推進を目指してまいりました。また、国内に留まらずアジア地域での活動展開の企画にも積極的に取り組み、公益財団としての社会的信頼性と価値の向上に努めてまいりました。

1) 口腔保健普及啓発事業(公益目的事業-1)

母子から高齢者までのライフステージ毎の活動を基本として、健康生活行動の習慣化を目指して口腔保健啓発活動を推進しました。生活者へは講演・実習等の直接指導を行なうとともに、保健指導者には、教材の開発・提供を通じて指導者支援活動を展開しました。地域活動では行政、歯科医師会、関連団体等と連携して、健康な地域づくりの支援を行いました。

2) 調査研究事業(公益目的事業-2)

口腔の状態、口腔保健行動に関する調査研究、口腔と全身健康に関する研究、および歯科診療を通じた研究などについて、幼児から高齢者を対象に調査研究活動を推進しました。

3) 教育研修事業(公益目的事業-3)

保健指導者、歯科専門家に対して、最新の歯科情報に関するセミナー、講演会を開催しました。

4) 口腔保健に関する収益受託事業(収益事業-1)

企業の求めに応じ、講演活動、商品説明会などの口腔保健に関する事業を実施しました。

2. 事業報告

1) 口腔保健普及啓発事業（公益目的事業－1）

生活者個人と地域社会に対する口腔保健の普及啓発、教材の開発・頒布を行い、健康の増進と福祉に寄与する事業

口腔保健啓発手法の開発を進め、学校や企業等の保健指導者へ普及を図るとともに、予防歯科の実現にむけて、生活者の口腔保健意識の向上と健康行動の習慣化を支援しました。実施にあたっては、ライフステージ毎の活動を基本に、行政、歯科医師会、地域団体等外部諸団体と協働で推進しました。

(1) ライフステージ毎の健康意識の向上と健康行動の習慣化をめざした、口腔保健啓発手法の開発と評価、ならびに保健指導者への提供、支援

① 母子歯科保健活動

妊婦と乳児期、幼児期の親子を対象に行政施設と連携し、その口腔保健活動を支援するとともに、妊産婦向けイベント等で親子を対象に口腔保健啓発活動を実施しました。

② 小学校歯科保健活動

ア) 指導者支援

保健指導者（養護教諭等）が自主的に活用できる教材や媒体を開発・評価し、財団ホームページからの提供を通して、学校歯科保健活動の普及啓発に努めました。

イ) 全国小学生歯みがき大会

第76回全国小学生歯みがき大会（令和元年6月1日～6月10日）を、「歯と自分をみがこう」をテーマに、学習内容を収録したDVDを参加小学校にお届けする形式で開催しました。各主催団体と連携するとともに、各地区の歯科医師会、教育委員会の協力を得て、国内外から総計4,255校（約24万人）の小学校が参加しました。

また、歯科衛生士養成校も参加して、大会参加の小学校にて児童に保健指導を行いました。

③ 思春期歯科保健活動

歯みがきに加えて歯間清掃の重要性を伝え習慣化を促すために、思春期世代に向けて、デンタルフロスの啓発を行いました。

④ 成人歯科保健活動

- ア) 企業内での歯科健診を通じて、受診者が口腔保健意識を高めて歯科医院での定期受診につながるためのコミュニケーション・ネットワークを活用し従業員の自己管理能力の向上に取り組みました。
- イ) 企業内保健推進者にむけて、歯科健診や歯科啓発講演が健康への気づきや健康生活習慣の向上につながることを発信するとともに、保健師等が行なう歯科保健活動を支援しました。
- ウ) 口腔の健康と全身健康の関連性の情報について発信し、成人の全身健康意識の向上を図りました。

⑤ 高齢者歯科保健活動

高齢者に対し効果的な口腔清掃と口腔機能の保持・向上に役立つ手法等の指導、講演を実施しました。

⑥ その他歯科保健活動

ア) 障がい者歯科保健活動

手話による歯科保健指導に取り組み、聴覚障がいをもつ児童、生徒に対する健康教育の推進を支援しました。

イ) 児童相談センター歯科保健活動

虐待やネグレクトを受けている幼児、児童、生徒や非行で保護されている生徒に対し、歯科医師や施設スタッフと協働して歯科保健指導を実施しました。

(2) 生活者および保健指導者への歯科口腔保健情報の発信

- ① 養護教諭等の保健指導者に対し、歯科口腔保健の指導に役立つセミナーやワークショップを開催しました。
- ② 生活者に対し、常に新しい情報を取り入れながらホームページを通じて情報発信しました。
- ③ 保健指導者に対し、ホームページを通じて最新情報を発信し、歯科口腔保健活動の普及啓発支援を実施しました。
- ④ 小学生の歯科口腔保健の指導にかかわる保健指導者、保護者および小学生を対象にした情報発信サイト（歯みがKids）や、児童が「主体的・協働的」に学ぶためのプログラム（歯ッカソン）を通じて小学生の歯科口腔保健の向上を支援しました。

(3) 教材の開発およびその頒布

保健指導者の活動支援に重点を置いて、各ライフステージに対応した新たな教材開発とその普及を推進しました。また、ホームページでも公開し、教材の効果的な普及を推進しました。

2) 調査研究事業（公益目的事業－2）

口腔保健関連研究を通して国民の健康の増進と福祉に寄与する事業

広く国民の口腔保健意識の向上、ならびに自律的かつ継続的な口腔保健行動の定着を図るため、効果的な口腔保健行動につながる方法の開発、口腔保健の重要性に関する情報の蓄積、および科学的な歯科疾患予防に関する情報の蓄積と技術の開発を目指し、以下の（1）～（3）の研究を推進し、健康の増進に役立つ最新情報と具体的なケア法の提供に努めました。得られた成果は学会活動などを通じて社会に情報発信しました。

(1) 口腔の状態、口腔保健行動に関する調査研究

- ① 歯科健診および歯科保健指導を通じて、生活者の口腔保健意識を高めて歯科医院での定期受診につなげるための受診勧奨システムの開発・評価に継続して取り組みました。一部の結果をまとめて学会発表しました。
- ② 小児の口腔機能に関する質問紙調査を行い、口呼吸の早期発見につながる5つの徴候を明らかにし、一部の結果を学会発表しました。
- ③ 乳幼児期の口腔状態、特に細菌叢と食・生活習慣の関連性等の調査研究を継続し学会発表を2件行いました。

(2) 口腔と全身健康に関する研究

- ① 歯周病および口腔衛生習慣と全身健康の中の肥満の発症に及ぼす影響に関する研究を推進しました。その結果をまとめて論文投稿し、掲載されました。
- ② 小児の口腔機能に関するアンケート調査を行い、口呼吸の早期発見につながる5つの徴候を明らかにし、一部の結果を学会発表しました。

(3) 歯科診療所における予防歯科研究と教育

- ① 生活者の健康づくりを支援する歯科医療の推進
患者のライフステージに合わせた口腔機能維持や予防歯科指導を中心としたヘルスプロモーション型歯科医院を推進しました。
- ② 生活の質的向上を実現するための研究
重度歯周炎の改善が全身の健康に影響する行動変容に結び付いた症例をまとめ、その結果を学会発表しました。
- ③ 診療活動を通じた教育・研修
歯科専門家向け各種セミナー開催のための技術情報の蓄積に努めました。

④ 治療リスクの高い患者への診療活動

東京デンタルクリニックにて、治療リスクの高い患者（妊婦、乳幼児、障がい者等）の受入を継続しました。

(4) 論文掲載、学会発表

研究の成果として、論文掲載3件（財団所員筆頭1件）、活動報告1件（財団所員筆頭）、症例報告1件、学会発表8件（財団所員筆頭6件）を行いました。

(5) その他

平成29年度文部科学省・日本学術振興会の「科学研究費補助金 基盤研究（C）/分担研究」2件、平成30年度文部科学省・日本学術振興会の「科学研究費補助金 基盤研究（B）/分担研究」1件、「科学研究費補助金 基盤研究（C）/分担研究」1件、平成31年度文部科学省・日本学術振興会の「科学研究費補助金 基盤研究（C）/代表者」1件の調査研究を実施しました。また、公益財団法人8020推進財団の「歯科保健活動事業助成」1件、および「研究事業助成」1件を獲得し、事業と研究を実施しました。

3) 教育研修事業（公益目的事業－3）

保健指導者、歯科専門家に対して、公1（口腔保健普及啓発事業）、公2（調査研究事業）の成果および最新の歯科情報に関するセミナー、講演会を開催し、歯科保健に関わる関係者の質的向上を通して、国民の口腔と健康の保持増進に寄与する事業

歯科専門家（歯科医師、歯科衛生士など）、保健指導者を対象に下記セミナーを開催しました。

- ①「『人生100年時代』に向けた歯科医療をめざして」をテーマに第28回ライオン健康セミナーを実施しました（大阪開催、平成31年4月21日）。
- ② 外部学会からの依頼に対し、財団歯周病指導医による学会参加者向けの講演を実施しました。
- ③ 外部からの講演依頼に対し、財団歯科衛生士を講師とした、歯科衛生士向けの講演を2件実施しました。

4) 口腔保健に関する収益受託事業（収益事業－1）

企業の求めに応じ、講演活動、商品説明会などの口腔保健に関する事業を実施しました。